



**KMU** 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

# かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌



TOPICS ● トピックス ALBATROSS

## 親子ふれあい医療 フェスティバル

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

タモリカップ2018 富山大会

CONTENTS ● もくじ

TOPICS 親子ふれあい医療フェスティバル	P.01
高木先生の診察室から	P.03
診療コラム	P.04
病院★ニュース	P.05
病院からのお知らせ掲示板	P.06
まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。



第7回  
夏休み  
親子ふれあい  
医療フェスティバル

平成30年8月5日(日)当院に於いて「第7回夏休み親子ふれあい医療フェスティバル」を元氣なからだをつくろう」を開催しました。このフェスティバルは平成24年からスタートし、小中学生及びその保護者を対象に人間の体のしくみや機能を説明し、検査や治療方法の体験を通して医療に興味を持ってもらうことを目的に毎年開催しており、今年で7回目となります。氷見市をはじめ高岡市、富山市などから小中学生60名、保護者46名の計106名が参加しました。

はじめに、梅博久病院長から、「普段皆さんは病院へは病氣や

けがをした時に来ますが、今日は医師や看護師、検査技師、理学療法士、作業療法士など様々な職種の病院スタッフになりきり、いろいろ体験してください。」と挨拶がありました。



**講演1**  
昔からの頭の言い伝え。  
ウソ? ホント?  
脳神経外科 高田久教授(副院長)

「昔からの頭の言い伝え。ウソ? ホント?」と題し、頭に関する昔から言い伝わることを医学的見地から話されました。「たんこぶができれば安心」ではなく病院を受診したほうがいいことや転倒するなどして頭を後ろからぶつけた時は特に注意が必要で日付や場所がしっかり言えるかどうかを確認する重要性や「頭痛には梅干しの種を貼れ」は、頭痛の際にこめかみに貼ると筋肉がほぐれ痛みが和らぐことや梅干しから出るベンズアルデヒドという成分に鎮痛効果があることなど、10項目の言い伝えをわかりやすく解説されました。





# 高木先生の 診察室から

胸部心臓血管外科  
助教

高木  
晶  
SYO  
TAKAGI

## 2017年

に開  
催さ

れた日本血管外科学会主催の第4回  
Distal bypass workshopへ参加し、  
海外での血管外科研修のお誘いを頂  
きました。弘前大学胸部心臓血管外  
科の福田 幾夫教授にドイツの  
Erlangen 大学血管外科 (Werner Lang  
教授)を紹介して頂き、2018年2  
月2日から16日の2週間の日程で研  
修に行つて参りました。



手術室廊下にて筆者と Lang 教授

Erlangen は Frankfurt から電車で  
約3時間移動したバイエルン州に  
ある人口10万人の都市で、私が滞  
在した Erlangen 大学血管外科は  
Lang 教授、上級医4名、レジデ  
ント4名で構成されており、年間  
1200件の手術件数を有する  
Vascular center でした。朝7時30  
分からカンファレンスと教授回診  
が始まり、夜間の緊急入院・手術の  
報告をして病棟とICUの回診で  
す。会話はもちろんドイツ語です  
が、教授やスタッフが重要な点を  
英語で丁寧に教えて下さりました。  
手術は1日3〜4件あり、手術のレ  
パートリーも広く、手術の正確さと  
速さには度肝を抜かれました。どん  
な体型の人にもマーキングせずに皮  
下組織まで切開、後は剪刀でサクッ  
サクッと剥離すると標的の血管が露  
出、迷いがありません。頸動脈内膜  
剥離術・下肢バイパスは全て確認造  
影を施行、それでも手術時間は約1  
〜1.5時間で終わっていました。Lang

教授は血管吻合の度に重要な点を英  
語で丁寧に説明して下さいました。  
また時間のある時はシエーマを書い  
て、血管剥離・内膜剥離・各手術のポ  
イントを教えて下さりました。レジ  
デントの頸動脈内膜剥離術も入りま  
したが、教授と同じ手つきで同じポ  
イントを解説、しっかりと教育がさ  
れているなあと感じました。針の  
ちよつとした角度の付け方や運針の  
方向、高度な石灰化部位の吻合など  
大変参考になりました。手術室は先  
生方や看護師の方々が親切にして下  
さり、大変充実した時間でした。  
短い期間でありましたが今回の



Lang 教授には食事・サッカー観戦・観光と  
大変お世話になった

### 高木 晶 ★ 略歴

#### 【略歴】

- ◎平成 24 年 4 月 金沢医科大学病院 初期臨床研修センター 入職
- ◎平成 26 年 3 月 金沢医科大学病院 初期臨床研修センター 退職
- ◎平成 26 年 4 月 金沢医科大学氷見市民病院 胸部心臓血管外科  
入職 (医員)
- ◎平成 28 年 4 月 金沢医科大学氷見市民病院 胸部心臓血管外科 (助教)

#### 【資格】

- ◎平成 27 年 9 月 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医
- ◎平成 30 年 1 月 日本外科学会専門医
- ◎平成 30 年 1 月 インфекションコントロールドクター
- ◎平成 30 年 6 月 腹部ステントグラフト機種別実施医



Erlangen 大学血管外科での研修に  
は、大いに刺激を受けました。この  
経験をこれからの日々の研鑽に生か  
したいと思います。最後になります  
が、このような機会を与えて下さつ  
た日本血管外科学会、弘前大学胸部  
心臓血管外科の福田 幾夫教授、ま  
た研修の許可を快諾して下さいた当  
院 齋藤 人志前院長、当科 小畑 貴司  
先生に心より感謝申し上げます。

認定看護師とは

認定看護師制度は、特定の看護分野で熟練した看護技術と知識を有し、日本看護協会の認定審査に合格した看護師が看護現場における看護ケアの広がりと質の向上を図っています。看護分野は21分野あり、当院は、感染管理、糖尿病看護、緩和ケアの3分野の認定看護師が業務に従事しています。

感染管理認定看護師

谷畑 祐子

感染管理認定看護師の役割は病院を利用する患者・家族・訪問者はもちろん、現場で働く全ての人を感染源から守ることです。活動はサーベイランスの実践、感染防止技術の教育、職業感染防止対策の実施、相談などがあります。



サーベイランスでは病院での感染発生状況(耐性菌発生や血流感染など)を把握します。私たちは手指衛生や防護具の装着、環境整備など様々な対策を行っていますが結果として「対策は有効だったのか？」に着目し、感染防止対策の基準・マニュアルなどの改善につなげます。また、多職種がチームを組み活動をしていきますのでその調整役を担っています。

院内ラウンドを毎週行い、対策の実施状況を確認しています。時には地域に向いて感染防止対策の指導・相談を行い、連携体制に努めています。

透析看護認定看護師

草山 ひろみ

平成22年に「透析看護認定看護師」の認定を受け血液浄化センターを中心に活動しています。現在の活動内容は①血液浄化センターに通院される患者さんが安全かつ安楽に治療を受けられるための支援②長期にわたる療養生活を良好に過ごすための自己管理指導③患者さんを支える御家族への援助等です。

近年多職種での積極的な関わりが求められているため当院でも毎月第2・第4木曜日内科外来で腎不全保存期看護外来を行っています。この



看護外来は近い将来、末期腎不全になり透析治療が必要となる可能性のある方に腎臓内科医の指示のもと、腎機能の急激な低下を防ぐための日常生活指導や患者さんに適した腎代替療法(血液透析・腹膜透析・腎移植)の選択に関する情報提供等を行っています。皆様のお役にたてるよう頑張りたいと思いますのでどうか宜しくお願いいたします。

## 平成30年度 健康づくり教室

平成30年度の健康づくり教室が当院6階多目的ホールにて開催されました。地域の皆さんの健康づくりに役立てていただくために平成25年度に初めて行われてから今年で6回目となります。

### 【第1回】 5月19日(土)

演 題 「眠りと健康」 ～眠りにまつわる病気～

講 師 病院長・呼吸器内科 教授 梶博久

参加者数 196名

睡眠障害の原因について、睡眠時無呼吸症候群やナルコレプシーなどの原因について、症状や治療方法等の解説がありました。生活習慣病については特に肥満の解消が必要であり、減量や運動に加え、漢方薬や、睡眠薬の選択方法についてアドバイスがありました。



### 【第2回】 6月16日(土)

演 題 「カビによる皮膚病」

～ここまでわかった！カビの感染ルート～

講 師 皮膚科 准教授 竹田公信

参加者数 176名

一般的に「水虫」や「たむし」とよばれる真菌症の検査方法や菌の種類や感染経路などの解説がありました。真菌症は家族にうつさないよう、気がついたときは早めに医療機関を受診することが

薦められ、金沢医科大学氷見市民病院では真菌外来が週1回ある事が紹介されました。

### 【第3回】 7月21日(土)

演 題 「からだの中からアンチエイジングを  
目指して」 ～血管若返り術～

講 師 金沢医科大学氷見市民病院 地域医療学・  
総合診療科教授 笠巻祐二

参加者数 162名

生活習慣病と動脈硬化の関係について解説があり、健康で長生きするためには生活習慣を見直し、食生活の見直しや適度な運動をとりいれることにより、糖尿病や肥満を防ぐ事が必要であることが解説されました。また、自身が行った中国新疆ウイグル自治区の疫学的調査から自然長寿者の特性や高血圧の少ない理由について、食事、運動、心の健康が大切であることが説明されました。受講者からは健康食品の効果について質問があり、サプリメントは多くあり過剰摂取について注意がありました。また、動脈硬化の薬の進歩について説明がありました。



## 第2回

### 氷見地区栄養士会合同研修会

平成30年5月17日(木)金沢医科大学氷見市民病院6階多目的ホールにおいて「第2回氷見地区栄養士会合同研修会」が開催されました。本会は、地域における栄養・食支援の推進と医療・福祉施設の栄養士間の連携を目指して昨年より開催しています。第1回は『嚥下調整食の基礎』地域における食形態の整備』をテーマに講義と調理実習を行いました。

今年度は管理栄養士等約20名が参加し、第1部に、しん川歯科医院 新川いくみ先生を講師にお招きし「食べることを通して氷見の医療と福祉について思うこと」と題して、在宅でのVE検査※や在宅訪問歯科診療の実情について講演が行われました。続いて特別養護老人ホームつまま園(介護福祉士・田島佐真子氏・本江由加里氏、管理栄養士・尾先世佳子氏)からの症例報告後、グループ別に討議と発表が行われました。



第2部では、金沢医科大学氷見市民病院 長谷恵管理栄養士より栄養情報提供書について伝達講習があり、最後に高岡厚生センター管理栄養士 小池晴美氏より講評を頂きました。参加者からは、「VE検査の実際や在宅診療の現状や症例を知ることができた」「栄養情報提供書の活用など、地域連携の重要性を再認識した」「今後も定期的に開催して欲しい」など多くの感想が寄せられました。福祉施設側から

の意見や要望を聞く事ができたことで、これからの地域連携における有意義な研修会となりました。

※VE検査(嚥下内視鏡検査)・・・患者さんの咽喉や喉頭を内視鏡で観察した状態で食物を経口摂取してもらい、誤嚥等異常所見の有無を検査する方法。ベッドサイドや在宅で評価する事が可能で、最近では訪問診療で実施する事も増えています。

## 自動車運転について

病気になる、障害をもったことで今までの生活が不安に思うようになります。同じように、自動車運転についても不安に思っている方が多いと思います。

平成29年3月の道路交通法の改正により、75歳以上の高齢者の運転免許証更新に際して、認知症の可能性が指摘された場合、認知症に関連する診断書の提出が義務付けられました。リハビリテーション部においても相談に乗るとともに、必要に応じて検査を行うています。検査を受けた方は、必ず運転許可が出るとは限りません。医師の診断書をもとに最終的には運転免許センターが判断するものです。リハビリテーション部の

検査は判断材料の一部になります。自動車運転の再開等を希望される場合は主治医やリハビリ担当者までご相談ください。



## 病院からのお知らせ掲示板



日時 平成30年10月5日(金) 9時45分  
場所 2階レストラン前ロビー

講師 富山県水見警察署生活安全課

荒井久也 係長

内容 患者さんやご家族さん、地域の方々を対象に高齢者の生活と安全の意識を高める講演です。振り込め詐欺などの被害にあわないために、是非ご参加ください。



### ●ブルーサークル健康講座開催案内

11月14日の世界糖尿病デーにあわせて、当院において糖尿病に関する健康講座を開催します。生活習慣を見直し、糖尿病の発病について、予防の大切さなど、疾患に対する理解を深めていただける講座です。ぜひご参加下さい。

日時 平成30年11月10日(土) 14時～16時(受付13時30分)  
場所 金沢医科大学水見市民病院 6階多目的ホール  
内容 ①「運動のすすめ」健康長寿を目指して」(講義と実技) リハビリテーション部

②糖尿病フンポイントクイズ 栄養部  
③特別講演

演題 「糖尿病と一緒に長生きするコツについて」  
講師 獨協医科大学内分泌代謝科 教授 薄井勲 先生

### ●ヘルシークッキング教室開催案内

食事の風味を損なわず、食塩を減らしても美味しく食べられる乳和食を取り入れた調理法と見た目も楽しくなる飾り切りなどが学べます。

日時 平成30年10月6日(土) 10時～13時(受付9時半から)  
場所 JA創作工房 ひみ  
講演 「血糖値が上がりにくい食べ方と食事量の目安」  
講師 金沢医科大学水見市民病院 内分泌・代謝科 高木晋  
調理実習 「旨味を使っておいしく減塩」  
持ち物 エプロン、三角巾  
参加費 無料  
参加定員 先着15名(定員になり次第締め切りとなります)  
問合せ先 医事課(内線1022)

## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

## まちかど情報

# 垂姫伝説 「人魚となった垂姫」

灘浦海岸菟田地区に万葉の時代より幻の仙女・垂姫伝説があります。その昔から垂姫岬の沖合は最高の漁場で、寒ブリの回廊でした。しかしまた、その海域は荒れる魔の海域でもありました。とりわけ寒ブリの季節になると海は大荒れとなり、毎年何人もの漁師が海底深くにあるという漁民洞の藻屑となりました。漁民洞には独り者の海人が住んでいたといひます。独身の海人は長い間、垂姫に恋をしていましたが、願いが叶わず寒ブリの季節になるといつも暴れるのでした。垂姫も若い海人に恋をしていたのですが、山の神、海の神が仲悪く、二人の恋を許しませんでした。そこで土地の者たちが海中に突き出た岬に八幡社を建立し、山の神と海の神に二人の恋の許しを祈願しました。山の神、海の神は領民の願いを聞き入れ、ブリ起こしの雷、祝砲を合図に手を結び、遂に二人の恋を許しました。仙女垂姫は人魚となって海人の妻になりました。以来、海難事故はなくなり、大漁が続いたと言われています。垂姫と海人は漁民洞の竜宮で今も幸せに暮らしていると言われ、垂姫神社は恋するものの願いが叶えられる愛の神社として今も伝えられています。



## 表紙について

7月15日(日)にタレントのタモリさんの名を冠したヨットレース「タモリカップ2018 富山大会」が射水市新湊地域沿岸部で開かれました。海王丸パークで「海上パレード」が行われた後レースが始まり、新湊沖に設置された定置網の周りを1周し、クルーは風向きを確かめたり潮の流れを見極めながら、常に帆で風を受けられるように船を操縦していました。猛暑日の中多くの観客が楽しそうに声援を送っていました。



## 編集後記

今年に入っても、北陸豪雪、大阪府北部地震、西日本豪雨、連日の猛暑日、西進の逆走台風と日本列島は数十年に一度とと言われる大規模な自然災害等が多発し、多くの方が被害に遭われております。

北陸、特に富山県は、他県と比べると、比較的災害の少ない地域ではありますが、災害はいつでも起こるか分かりません。

大地震や豪雨などの自然現象は、人間の力ではくい止めることはできませんが、災害への備えによって被害を減らすことは可能です。総務課では、できることから計画的に取り組んで、少しでも被害の軽減を図ってまいります。

かけし夏号編集委員 総務課 坂田 慎一

## ■広報誌「かけし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。